

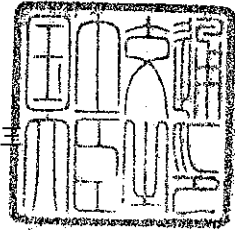


認定書

国住指第2007号
平成 19年 2月 23日

寺岡オートドア株式会社
代表取締役 吉田 敬 様

国土交通大臣 冬柴 鐵三



下記の構造方法又は建築材料については、建築基準法第68条の26第1項(同法第88条第1項において準用する場合を含む。)の規定に基づき、同法施行令第112条第1項(特定防火設備)の規定に適合するものであることを認める。

記

1. 認定番号
EA-0229
2. 認定をした構造方法又は建築材料の名称
耐熱板ガラス入ステンレス製両開き戸
3. 認定をした構造方法又は建築材料の内容
別添の通り

(注意)この認定書は、大切に保存しておいてください。

1. 構造名：
耐熱板ガラス入ステンレス製両開き戸

2. 申請仕様の寸法：
申請仕様の寸法を表1に示す。

表1 申請仕様の寸法

項 目		申 請 仕 様
枠外幅	(WW)	952～5420mm
枠内幅	(W)	862～5300mm
開口幅	(W _o)	862～2400mm
扉幅	(DW)	440～1209mm
扉ガラス開口幅	(GW1)	200～969mm
Fixガラス開口幅	(GW2)	200～1350mm
枠外高さ	(HH)	865～3887mm
開口高さ	(H)	800～3027mm
扉高さ	(DH)	805～3032mm
扉ガラス開口高さ	(GH1)	200～2772mm
Fixガラス開口高さ	(GH2)	200～3000mm
上枠見付寸法	(a)	50～500mm
上枠見込寸法	(a2)	134～344mm
下枠見付寸法	(b)	45～360mm
下枠見込寸法	(b2)	134～344mm
たて枠見付寸法	(c)	45～60mm
たて枠見込寸法	(c2)	140～350mm
方立見付寸法	(d)	75～100mm
方立見込寸法	(d2)	140～350mm
開き戸上框見付寸法	(e)	140～500mm
開き戸下框見付寸法	(e2)	120～500mm
開き戸先たて框見付寸法	(e3)	120～500mm
開き戸尻たて框見付寸法	(e4)	120～500mm
くつずり見付寸法	(f)	45～50mm
くつずり見込寸法	(f2)	134～344mm
周壁部の仕様	(下部)	乾式工法 ^{*1)} ・湿式工法 ^{*2)}
	(三方)	乾式工法 ^{*1)} ・湿式工法 ^{*2)}

(注) *1)：乾式工法：せっこうボード又は繊維混入けい酸カルシウム板
(平成12年建設省告示第1400号)等

*2)：湿式工法：セメントモルタル等

3. 申請仕様の主構成材料：
申請仕様の主構成材料を表2に示す。

表2 申請仕様の主構成材料

項目	申請仕様
上枠、下枠、たて枠 方立、上框、たて框 下框、押縁	材料：冷間圧延ステンレス鋼板（JIS G 4305）SUS304 厚さ：1.0～2.0mm
くつずり	材料：冷間圧延ステンレス鋼板（JIS G 4305）SUS304 厚さ：1.5～2.0mm
補強材 1	材料：溶融亜鉛めっき鋼板（JIS G 3302）SGHC 厚さ：1.6mm以上
補強材 2	材料：溶融亜鉛めっき鋼板（JIS G 3302）SGHC 厚さ：2.3mm以上
補強材 3	材料：一般構造用圧延鋼材（JIS G 3101）SS400 厚さ：6.0mm以上、幅38mm以上
補強材 4	材料：一般構造用圧延鋼材（JIS G 3101）SS400 厚さ：6.0mm以上、幅100mm以上
補強材 5	材料：一般構造用圧延鋼材（JIS G 3101）SS400 厚さ：6.0mm以上、幅125mm以上
ガラス	材料：耐熱板ガラス 厚さ：6.5mm又は8mm（許容差±0.3mm） ガラスの種類：ほうけい酸ガラス 熱膨張係数： $3.3 \times 10^{-6} / ^\circ\text{C}$ （常温～350°C） 密度：2.2g/cm ³

4. 申請仕様の副構成材料：

申請仕様の副構成材料を表3に示す。

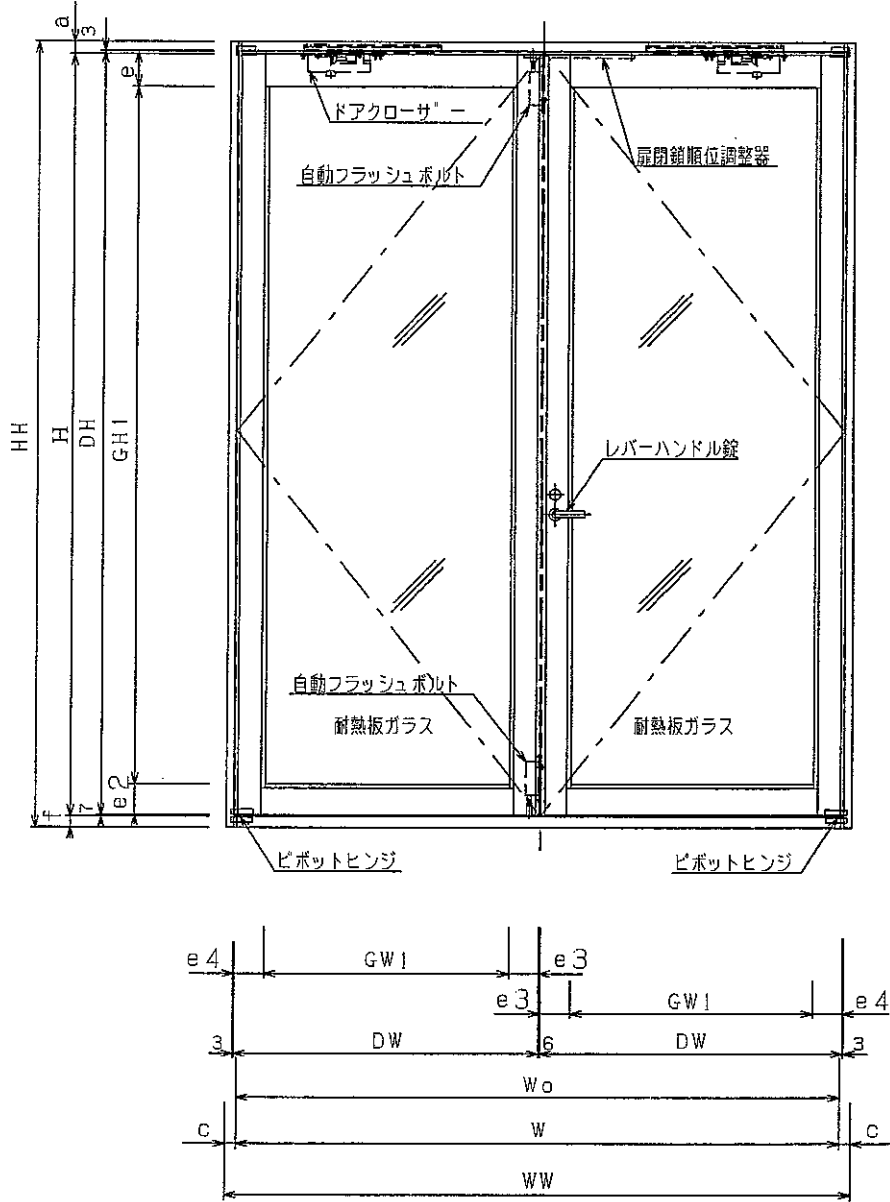
表3 申請仕様の副構成材料

項目	申請仕様
アンカー	材料：一般構造用圧延鋼材（JIS G 3101）SS400 大きさ：丸鋼 9φ以上 取付間隔：250mm以下
ガラス押え	材料：シリコン系シーリング材
バックアップ材	材料：セラミックテープ 厚さ：4.25mm以上、幅17mm以上
レバーハンドル錠	材料：冷間圧延ステンレス鋼板（JIS G 4305）SUS304 厚さ：1.0mm以上
ピボットヒンジ	材料：一般構造用圧延鋼材（JIS G 3101）SS400
ドアクローザ	仕様：①又は② ①コンシールドタイプ ②面付けタイプ 材料：1)及び2)（本体及びアーム） 1)アルミニウム合金ダイカスト（JIS H 5302） 油圧式 2)一般構造用圧延鋼材（JIS G 3101）SS400
扉閉鎖順位調整器	材料：冷間圧延ステンレス鋼板（JIS G 4305）SUS304 厚さ：1.0mm以上
自動フラッシュボルト	材料：冷間圧延ステンレス鋼板（JIS G 4305）SUS304 厚さ：1.0mm以上
目板	材料：冷間圧延ステンレス鋼板（JIS G 4305）SUS304 FB 厚さ：5mm以上、幅38mm以上
セッティングブロック	材料：繊維混入けい酸カルシウム板 大きさ：13×6×50mm以上
加熱発泡材	材料：カーボングラファイト系 厚さ：1.5mm以上、幅10mm以上
さび止め塗料	材料：塩酸カルシウムさび止めペイント（JIS K 5629）
押縁留め小ねじ	材料：ステンレス鋼棒（JIS G 4303） 寸法：胴部径M4×長さ30mm以上

5. 申請仕様の構造説明図：

申請仕様の構造説明図を図1～図6に示す。

単位 mm



室内側立面図 (両開き戸)

図1 構造説明図

単位 mm

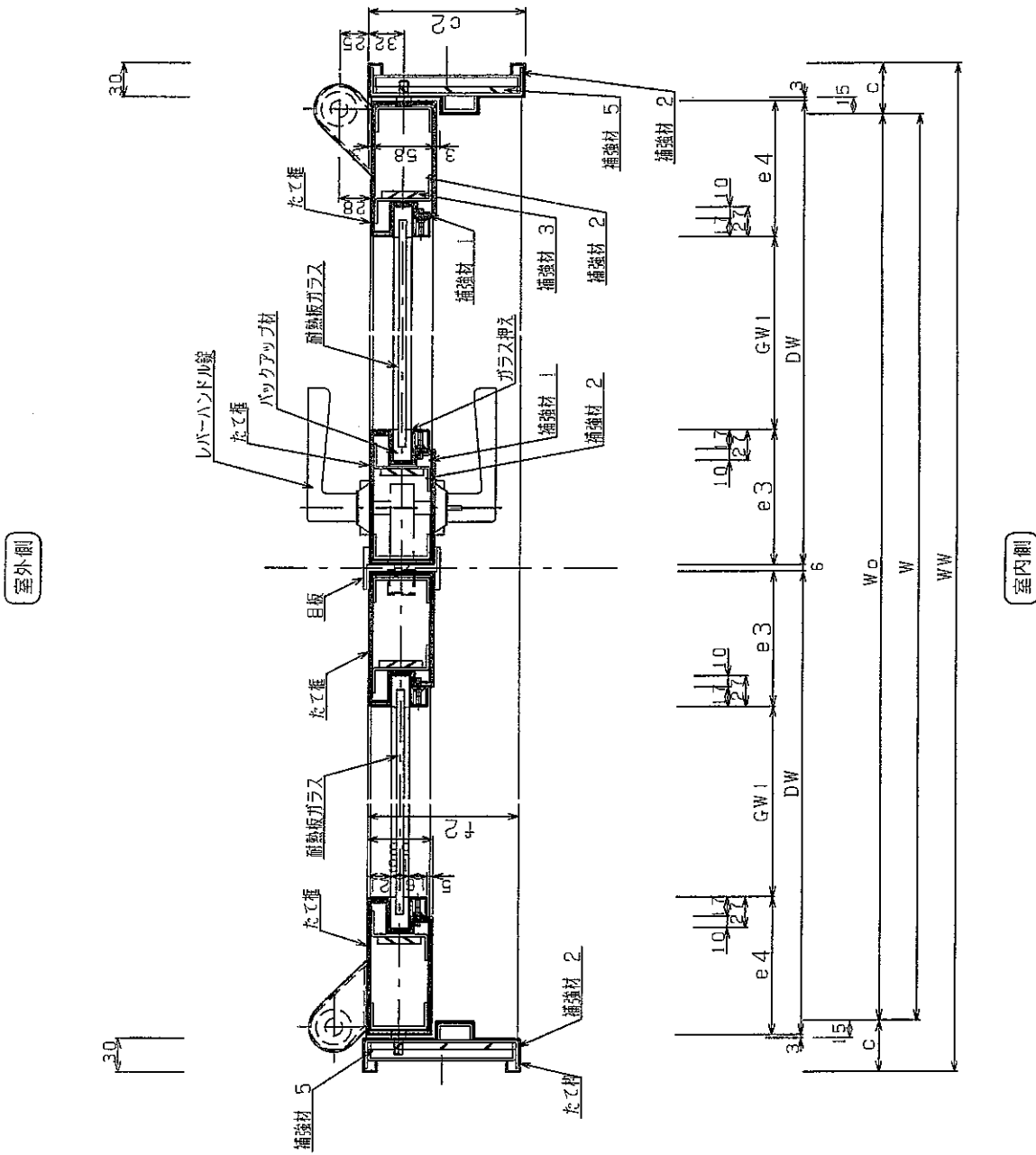


図2 構造説明図

水平断面図 (両開き戸)

単位 mm

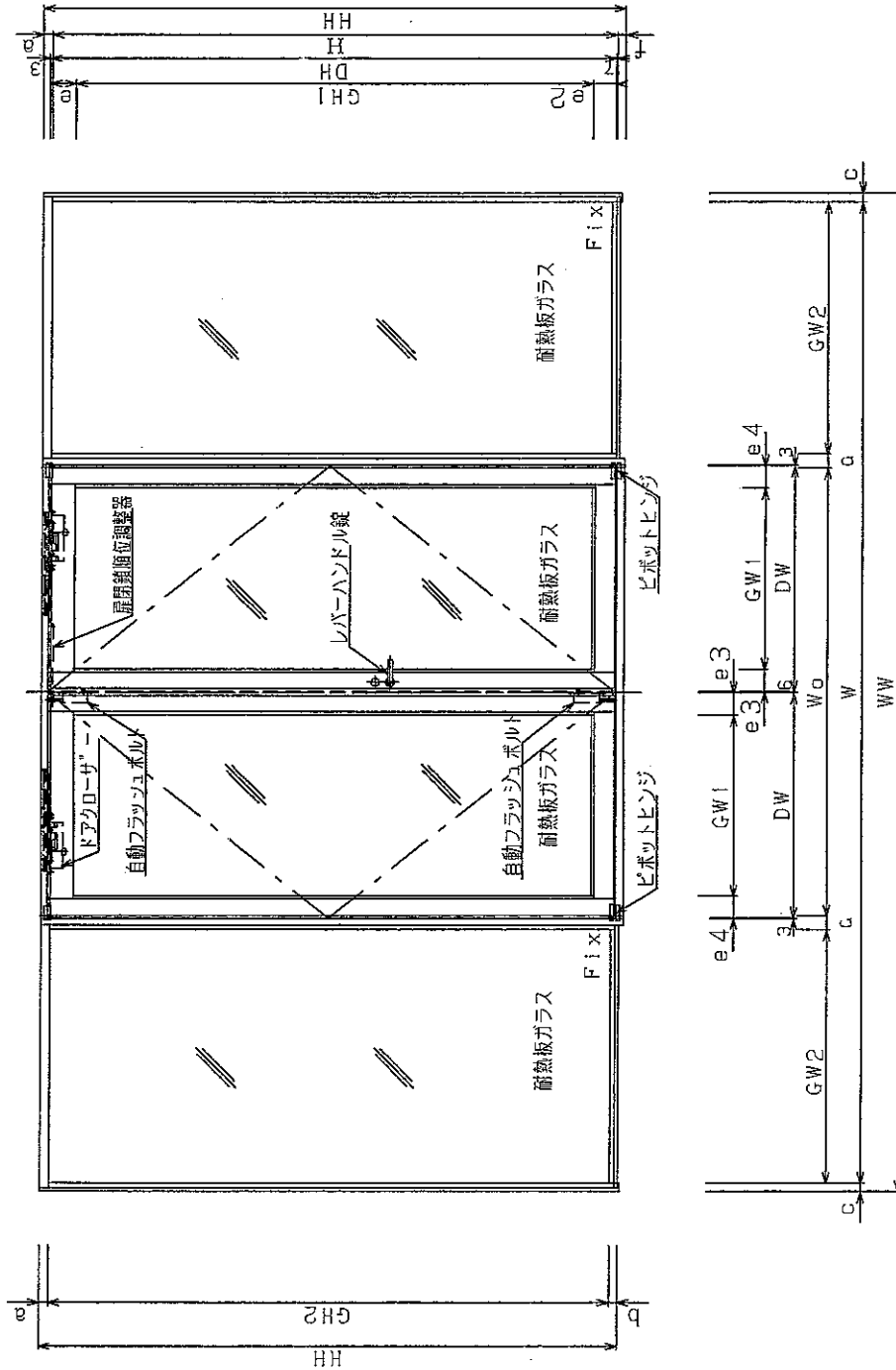


図3 構造説明図

室内側立面図（両開き戸両袖Fix付）

単位 mm

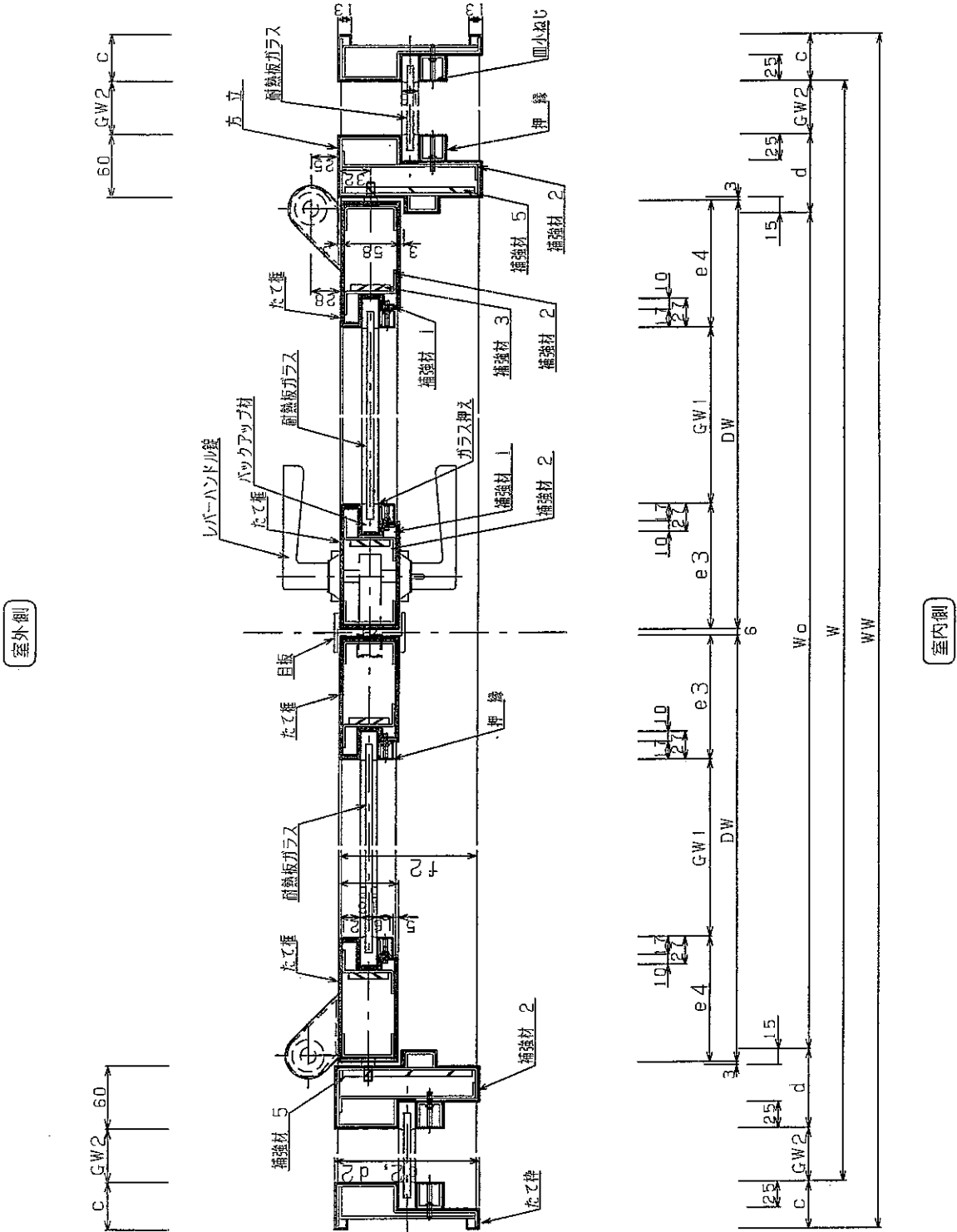
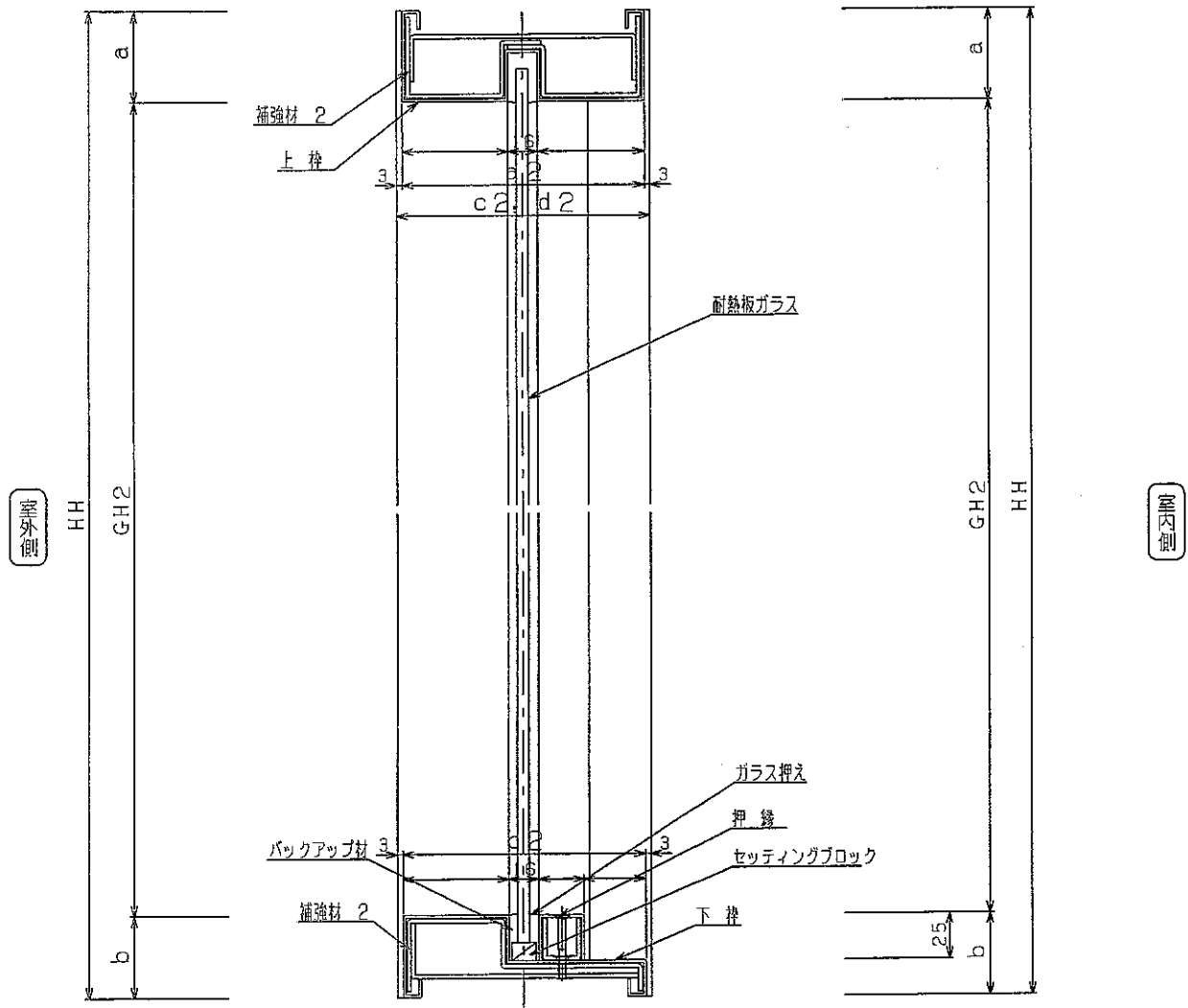


図4 構造説明図

水平断面図 (両開き戸面袖 F : x 付)

単位 mm



Fix側 鉛直断面図 (両開き戸両袖Fix付)

図6 構造説明図

6. 施工条件：

施工図を図7～図14に示す。

施工は以下の手順で行う。

(1) 組立

建具のうち、上框、たて框及び下框を工場加工し、組み立てたものを現場に搬入する。

(2) 枠組取付け

1) 取付準備

取付場所を清掃し、建具を配置するスペースを確保し、各階基準墨、取付開口部の大きさ等の確認を行う。

2) 取付け

①建具の配置

サッシ芯墨、返り芯墨及び陸墨等の基本墨に基づき、所定の位置に建具を配し、枠の水平、倒れ、対角線寸法をチェックする。

②建具の組立

上枠、左右のたて枠、下枠及び方立を組立てる。

③建具の固定

建具のアンカーを差筋又は取付用アンカーに溶接する。

3) 周壁部の処理

①湿式工法の場合、枠と周辺構造材との間にセメントモルタルを隙間なく充てんする。

②乾式工法の場合、せっこうボード等で被覆する。

4) 仕上げ塗装

ガラス施工前に仕上げ塗装を行う。

(3) ガラスの取付け

1) 取付準備

イ) ガラス開口部及びガラス溝の寸法を確認後、建具の押縁を外した後、ガラス溝を清掃する。

ロ) 周辺部にガラスを破損するおそれのあるねじ及び突起物を除去する。

2) ガラスの取付け

所定の位置にセッティングブロックを据え付け、ガラスに反り、ねじれを生じさせないようにはめ込む。なお、取付けの際、ガラスエッジ及び面には傷を付けないように注意する。

3) ガラスの調整

所定のクリアランス及びかかり代となるよう、ガラスを微動させて調整し、その後、押縁を取付ける。

4) シーリング材の施工

ガラスの取合い部分にバックアップ材を入れてシーリング材で仕上げる。

5) 養生

ガラスを施工後、工事が完了するまで、注意喚起の貼紙をし、必要に応じて防護材でガラス面を養生する。

(4) 扉の取付け

1) 取付準備

イ) ドア種類、寸法及び仕様を確認する。

ロ) 建具寸法及び精度を確認する。

2) 扉の取付け

①左・右勝手の仕様と建具開口寸法を確認する。

②ドアをフロアヒンジ又はピボットヒンジの軸に差し込み、トップ軸にはめ込みし、ねじで適正に締付ける。

③ドアを指定の位置に合わせ、ドアの建付けを調整し、適正に建付ける。

④ドア軸心及びドアと枠の直角度について十分に注意する。

⑤ドアの手動開閉力は、可能な範囲で調整を行う。(自閉装置が作動した場合はこの限りでない。)

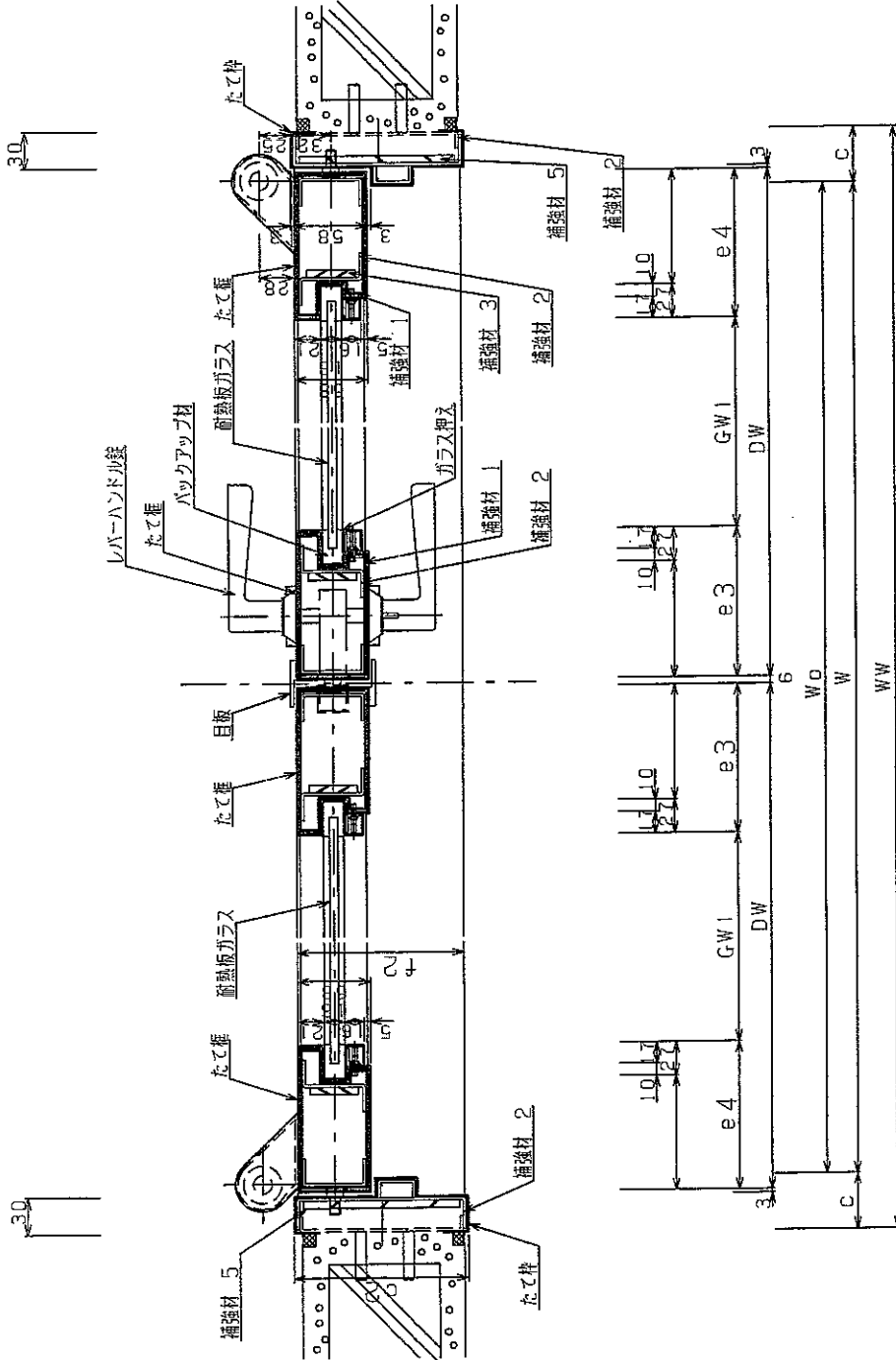
⑥全閉時のドアとたて枠の上下隙間差は1mm以下となるよう調整する。

⑦ドアの下端とくつずりの隙間は7mmとなるよう調整する。

⑧開き戸が確実に閉鎖し、ラッチが確実にかかることを確認する。

単位 mm

室外側



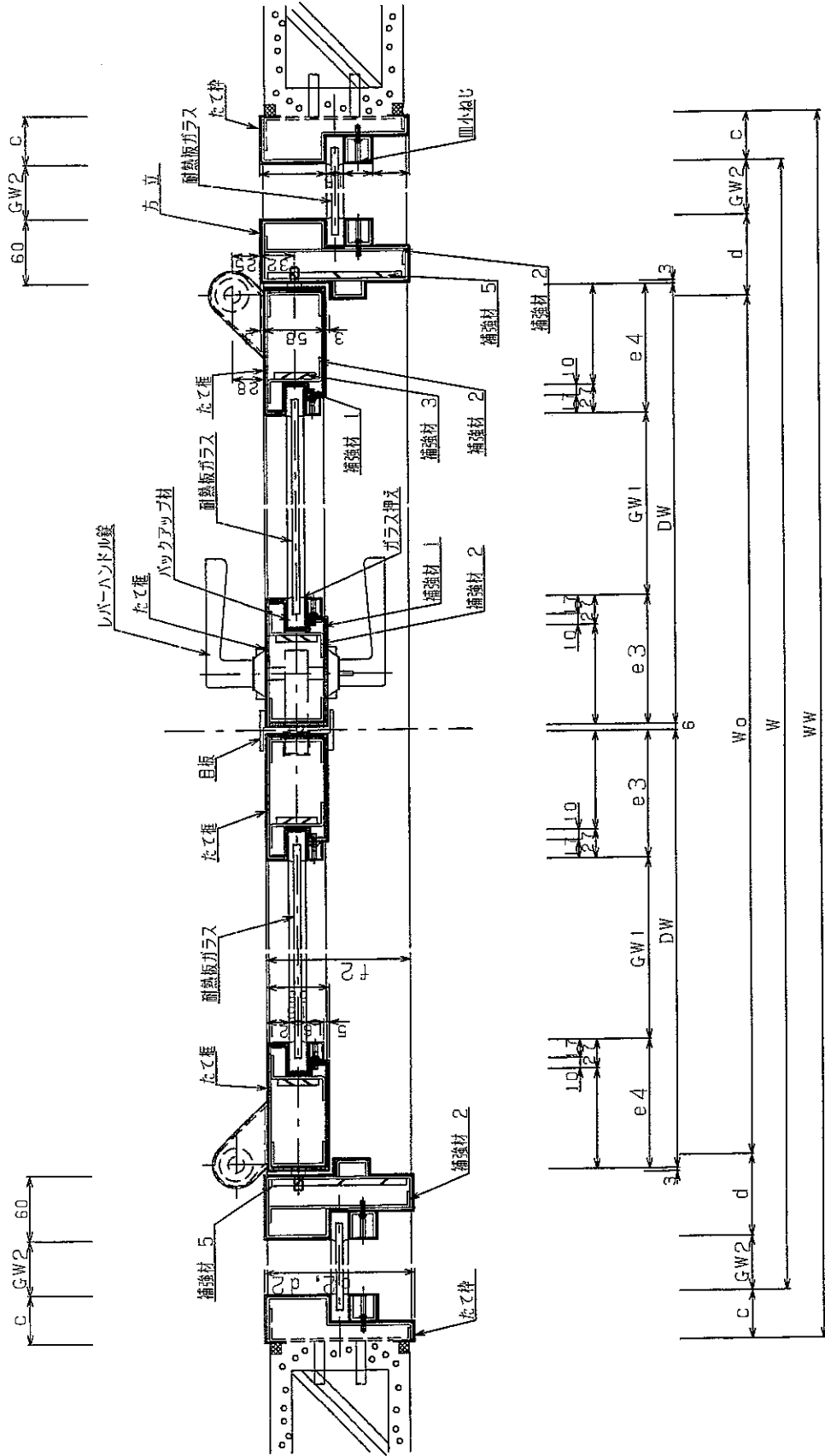
室内側

水平断面図 (湿式工法 面開き戸 施工仕様)

図7 施工図

単位 mm

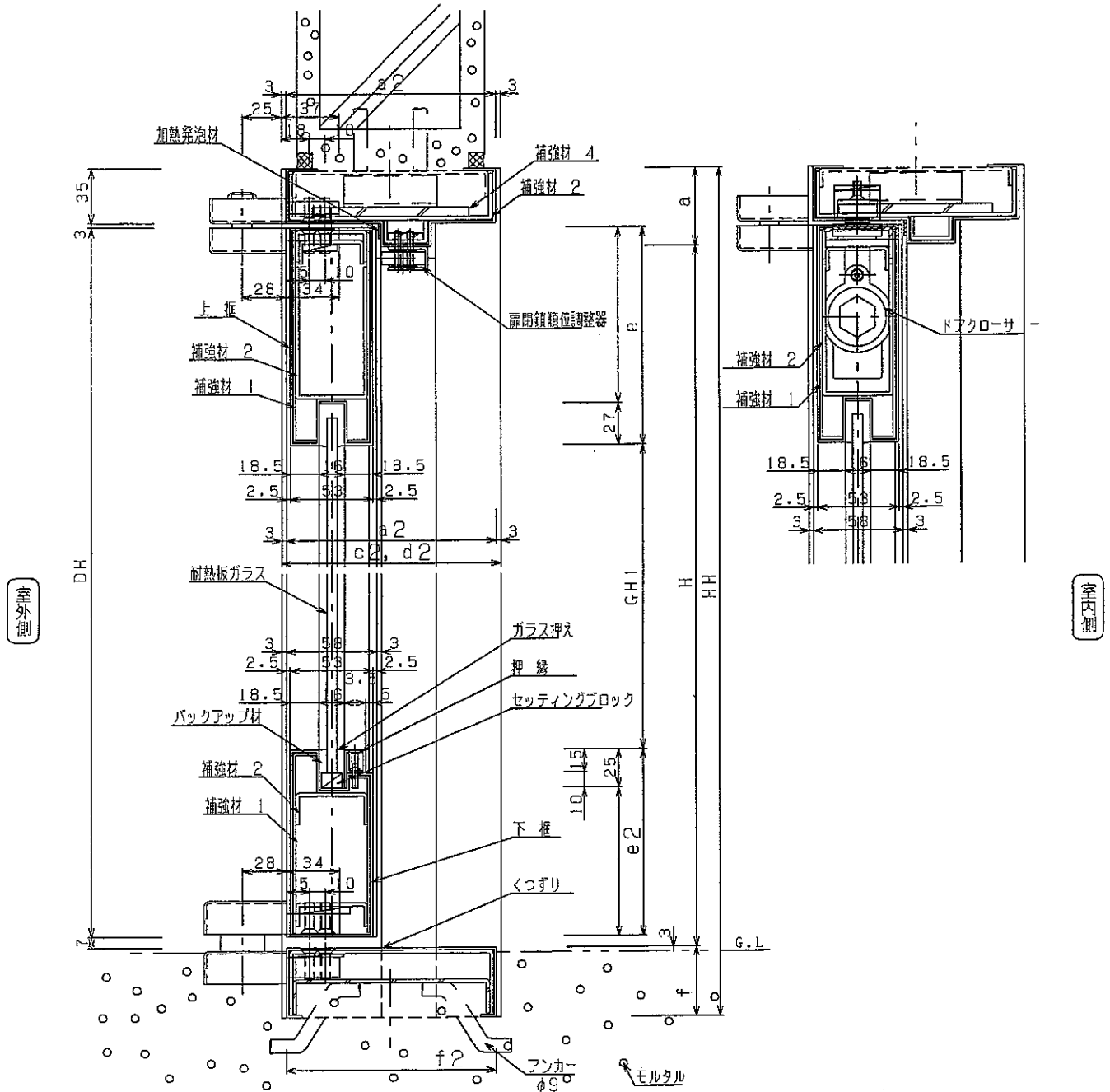
室外側



室内側

水平断面図 (湿式工法 両開き戸面袖F i x付 施工仕様)

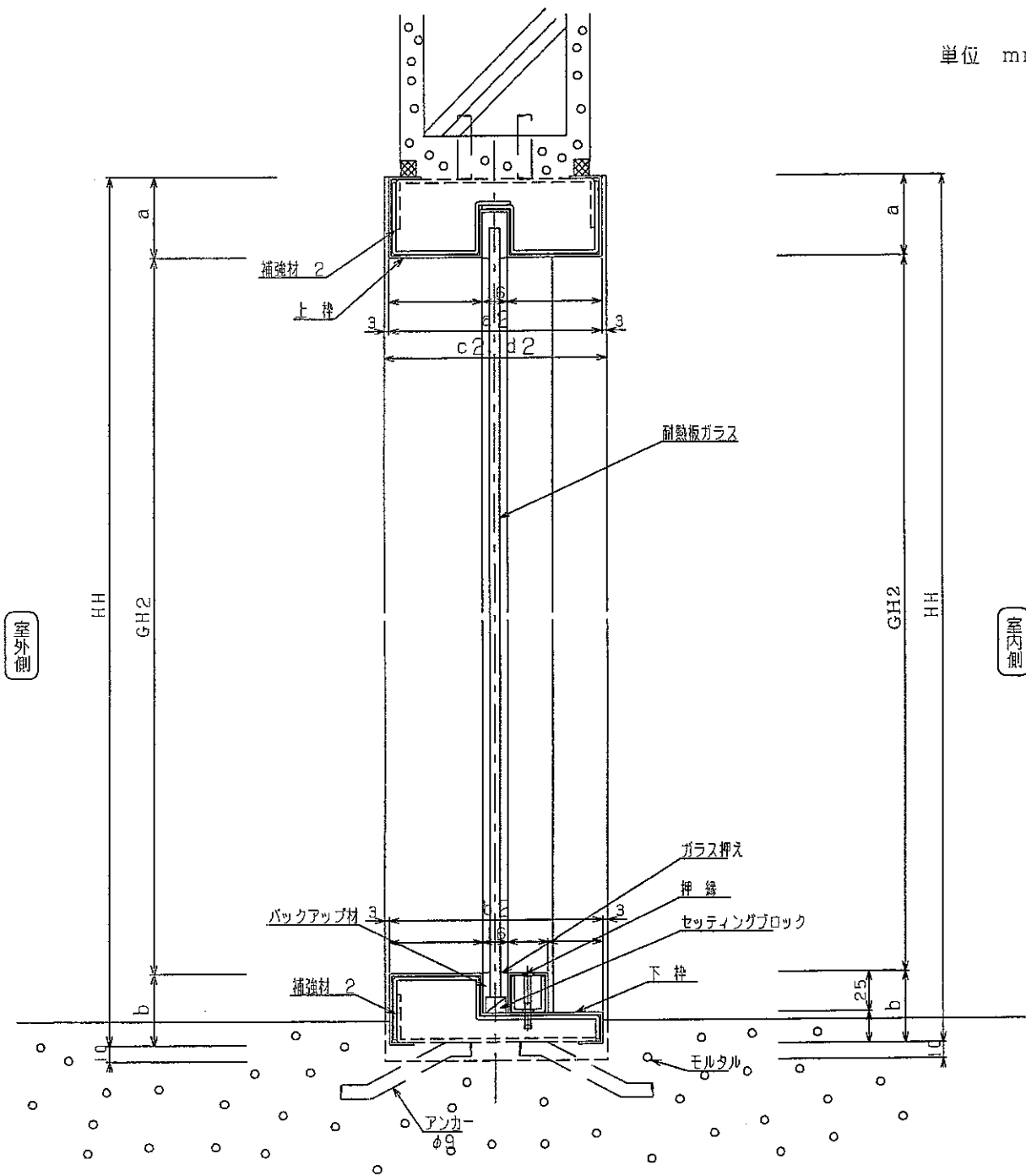
単位 mm



扉側 鉛直断面図 (湿式工法 両開き戸両袖Fi付 施工仕様)

図9 施工図

単位 mm



F i x 側 鉛直断面図 (湿式工法 両開き戸両袖F i x付 施工仕様)

図10 施工図

単位 mm

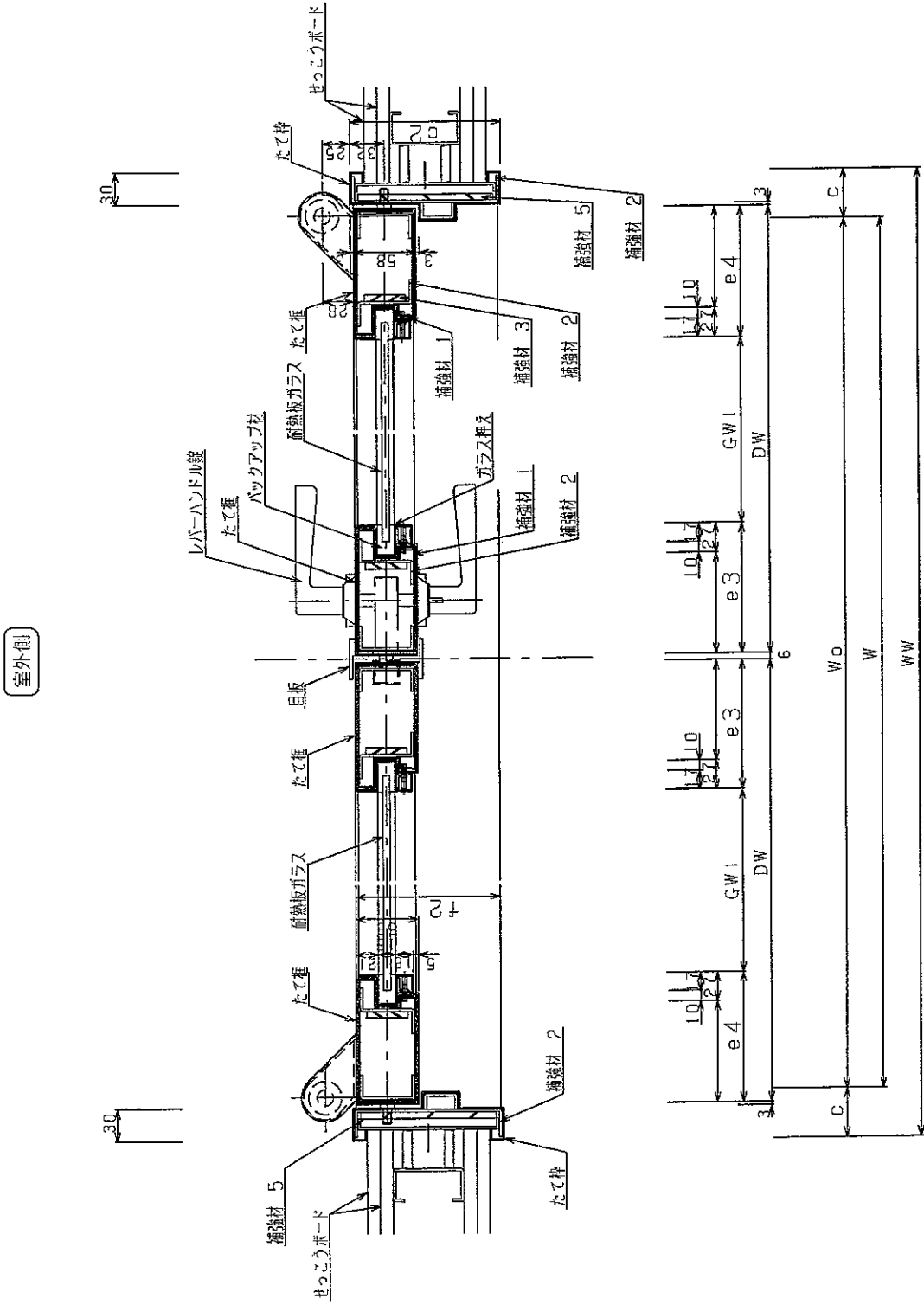


図 1 1 施工図

水平断面図 (乾式工法 面開き戸 施工仕様)

単位 mm

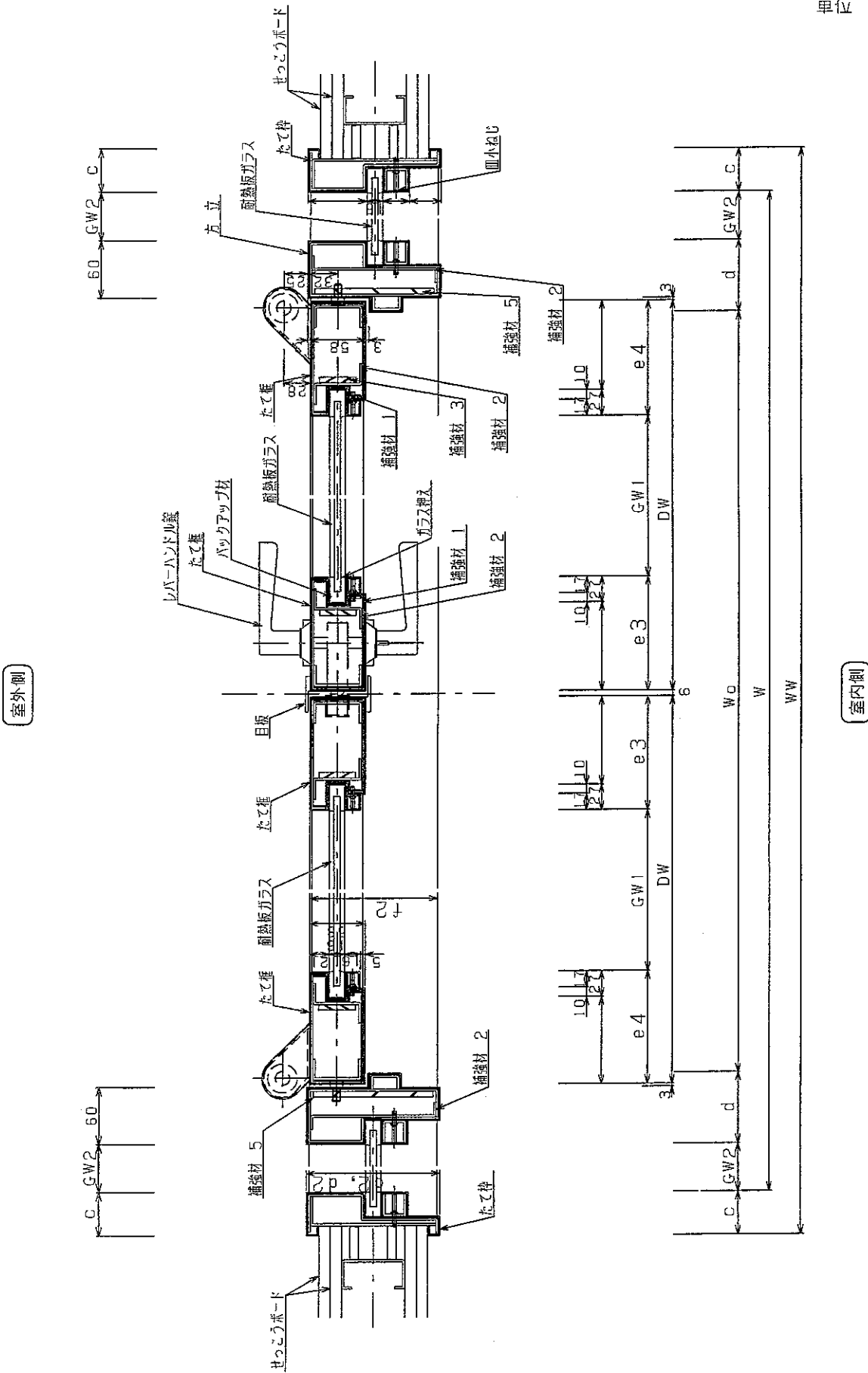
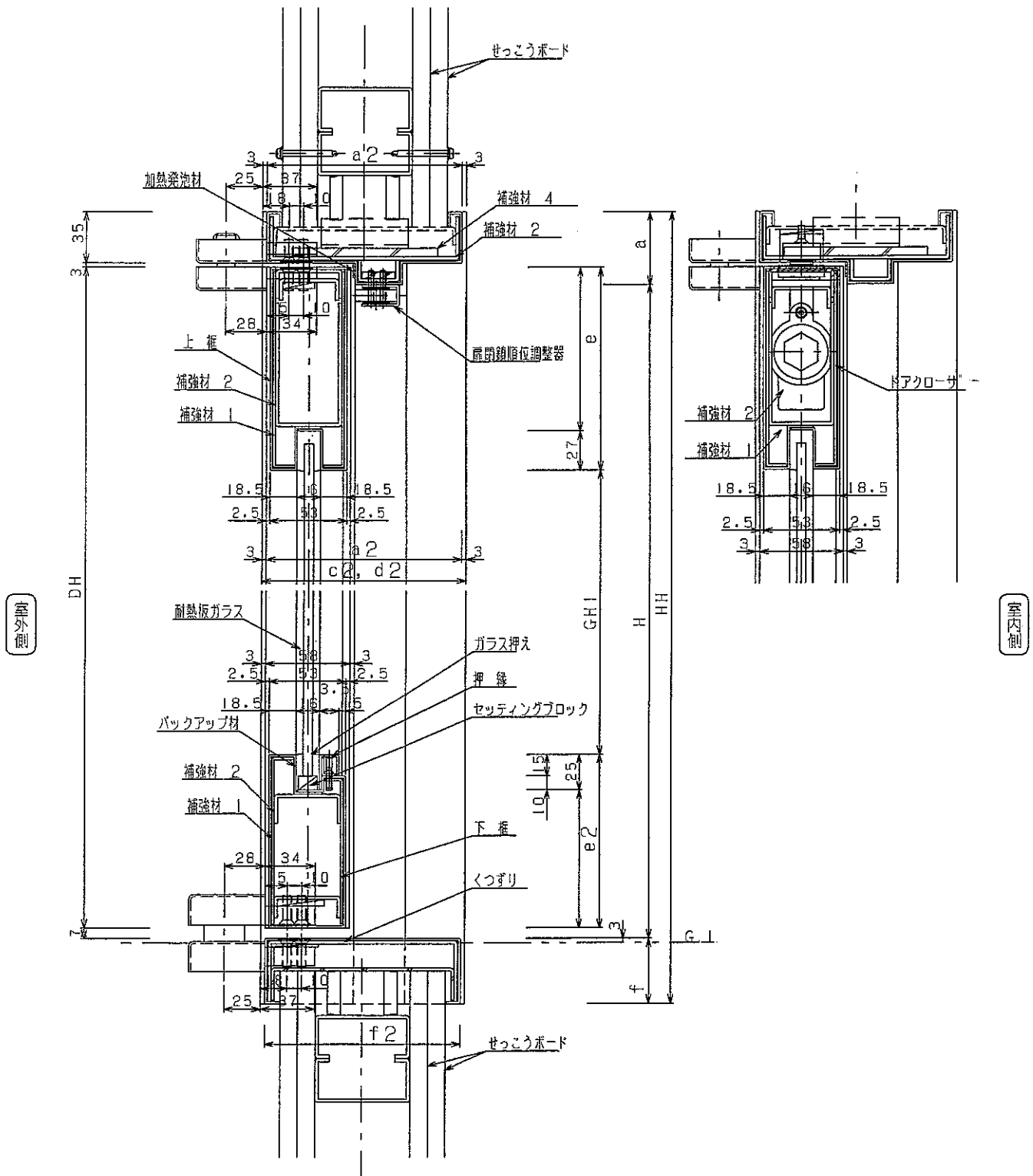


図 12 施工図

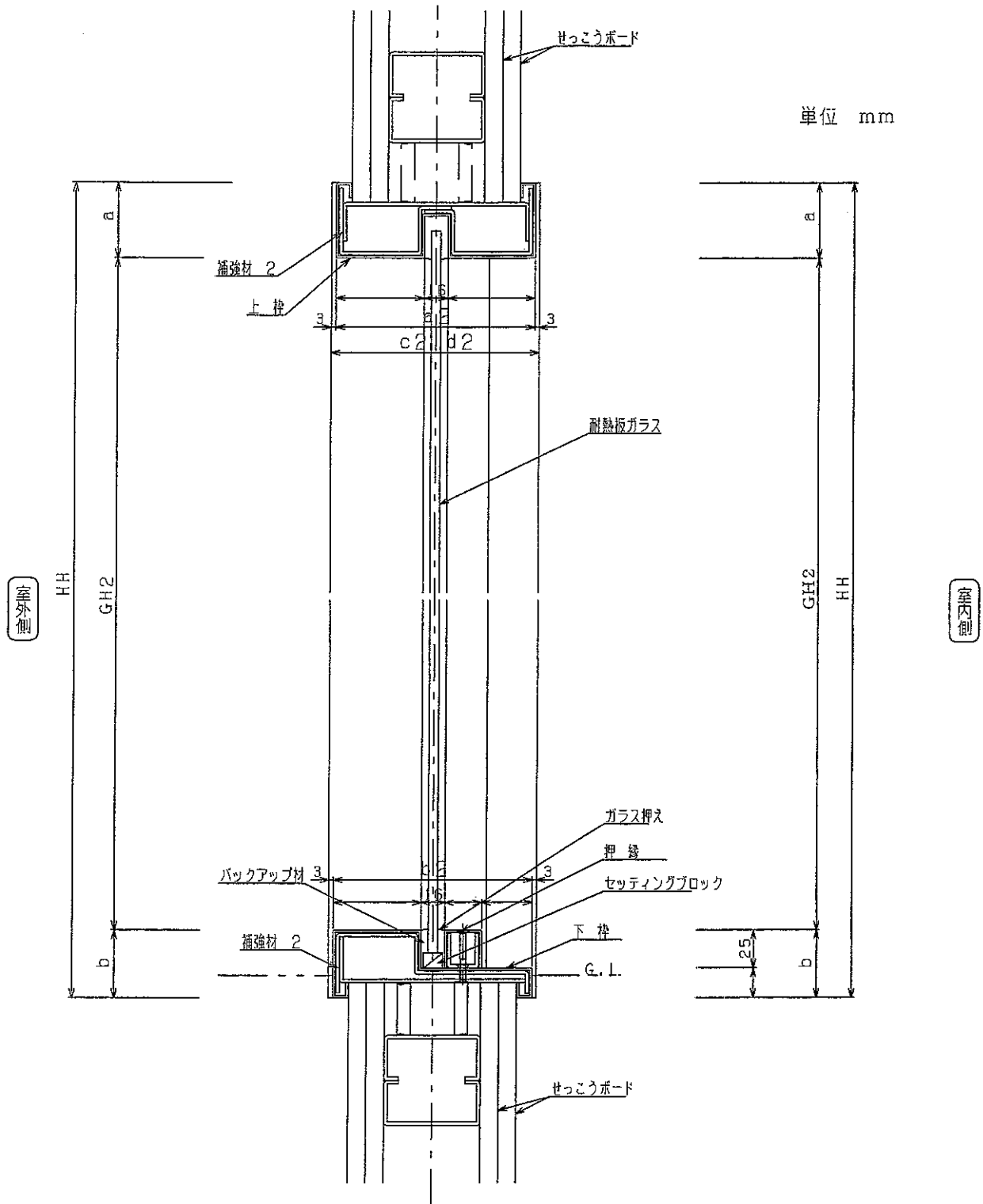
水平断面図 (乾式工法 両開き戸両袖 F i x 付 施工仕様)

単位 mm



扉側 鉛直断面図 (乾式工法 両開き戸両袖Fi付 施工仕様)

図13 施工図



F i × 側 鉛直断面図 (乾式工法 両開き戸両袖 F i × 付 施工仕様)

図 1 4 施工図